

二〇三八番

逢あはなくは 日けなが長ながきものを 天あまの川がは 隔へだててまた
や 我あが恋こひ居をらむ

二〇三九番

恋こひしけく 日けなが長ながきものを 逢あふべかる 夕よひだに君きみ
が 来きまさざるらむ

二〇四〇番

彦ひこほし星ほしと 織たなはたつめ女つめと 今こよひあ夜あ逢あふ 天あまの川かはと門かどに 波なみた立た
つなゆめ